

公正・普遍の情報開示で嘘偽りの無い静謐・希望溢れる阪南市にしませんか！

無所属

弓場秀昭

ゆばひであき



新型コロナウイルスによりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔み申し上げます。また罹患された方とご家族の皆様には心よりお見舞い申し上げます。



立候補趣旨と公約

① 時限条例を発効し、議員定数8名以下の少数精鋭議会による市長の監視強化

●国の補助金の抵当(かた)にする為、廃店建物に、二度も子供達を押し込めようとした歴代市長の暴走を制止せず、4億5千万円超も損害を拡大させた、市議会議員らは、当選の際は、至急時限条例を発効し、全損額回収と議員定数8名以下(小学校区割り等)に削減するロードマップを市民に公開する必要があります。

(弓場ホームページ「嘘のない街へ」参照)

② 清廉英知の精鋭市議会による、市民への公正な情報開示と住民投票制度の整備促進

●全市民の生活、人権、財産を侵害されないためにも、重要政策への住民投票制度の整備を促進します。平成28年前市政は署名1万3千筆の、住民投票要請を無視しました。が、一番の問題は歴代市議会が「総合子供館以外使用出来ない」という、「借地約定第2条」を、開示しなかった事でした。市顧問中央法律事務所を解約して、阪南市民に中立公平な、新たな法律事務所に交代します。

③ 市長・市職員、指定介護事業所、市顧問弁護士からの介護断絶と人権侵害の撲滅

●要介護者に濡れ衣を着せて、介護サービスを断絶する介護事業所や、職員らから要介護者らの尊厳ある介護生活や、財産を守る為の、市長、市議会とは独立した、公正・独立の専門家らによる、介護事業者指定基準違反の審査機関等を整備します。

●利用人印鑑の無断押印・保管義務記録の事実改ざん、利用人や、各市町村、国保連等からの不正受給する、事業所を即刻退場させます。

●以下、私が必ず実行する事以外、抽象的な政策メニューの羅列は控えます。

■プロフィール 昭和51年3月大阪市立大学商学部商学科卒業。平成21年7月花王株式会社墨田事業SCM部門途中退職(脳出血疾患)。花王株式会社では、地域の責任者として花王ソフィナの販売体制構築、新販売店美容支援制度確立等、花王化粧品の基盤を確立する。生産・物流部門では、「生産・販売・物流、各部門の全体最適化」を図り、「サプライチェーン・マネジメントSCM」を提唱し、国内家庭用品化粧品品のSCM推進による、従来の物流拠点1/3の広域最適配置化に尽力する。